

全体構成に対する考え方

- 総論として「計画」と「計画推進の基本的考え方」を据え、この中に、計画の位置づけ、計画期間や方向性などを記載
- 各論として、ベーシックな施策も含めた需要部門毎の取組を、現状等、施策の順で記載
また、目指す姿に向けた3つの挑戦を、特に、章をあらためて記載。
- 最後に、「推進に向けた行動」として、道民や事業者の行動、道における推進体制を記載。

第1章 計画の基本的な考え方

<p>■エネルギーを巡る道内外の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電力自由化による発電主体の多様化や電気の購入先の選択 肢拡大やF I P制度創設等の電力システム改革 ○ゼロカーボンシティ宣言など脱炭素化に向けた動きの高まり ○デジタル技術を活用した新たなビジネスの芽生え 	<p>■道におけるエネルギー需給の現状</p> <p>■計画の性格と位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条例に基づき目標と施策の基本的事項を定めるもの <p>■計画期間及び目標年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度～12年度（10年間）
--	---

第2章 計画推進の基本的な考え方

<p>■計画の目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省エネによるエネルギーの効率的利用の実現 ○新エネの最大限活用による持続的なエネルギー供給と脱炭素化の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・自立的なエネルギー活用の実現 ・「エネルギー基地北海道」の確立 ○道内企業の環境関連産業への参入による地域経済の好循環の実現 	<p>■目指す姿の実現に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省エネのライフスタイル化を図る ○3つの挑戦を行う <ul style="list-style-type: none"> 挑戦Ⅰ 多様な地産地消の展開 挑戦Ⅱ エネルギー基地北海道の確立に向けた事業環境整備 挑戦Ⅲ 省エネ促進・新エネ導入と一体となった環境関連産業の振興 <p>■計画の目標 数値目標を設定</p>
---	---

第3章 目指す姿の実現に向けた3つの挑戦

需要家の省エネのライフスタイル化を図った上で3つの挑戦をはじめとした施策を行う

挑戦Ⅰ. 多様な地産地消の展開	挑戦Ⅱ. 「エネルギー基地北海道」の確立に向けた事業環境整備	挑戦Ⅲ. 省エネ促進・新エネ導入と一体となった環境関連産業の振興
<ul style="list-style-type: none"> ・需給一体型の分散型エネルギーシステムの構築 ・新エネ熱利用の拡大 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模新エネ開発プロジェクトの誘致 ・先端技術の普及 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・道内企業の関連市場への参入促進 など

第4章 省エネ・新エネ促進を目指す部門別の取組

■産業業務	○現状背景	○施策
	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費量は減少傾向、原単位は足踏み ・エネルギーの需要家の再生可能エネルギーを求める動きの高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化の動きと連動した省エネの深掘り ・需要家の新エネ活用に関する新たなビジネスの促進 など
■家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○現状背景 ・省エネの意義や行動に関する理解不足 ・エネルギー消費割合の6割以上が灯油 	<ul style="list-style-type: none"> ○施策 ・省エネへの意識や行動の定着に向けた普及啓発 ・熱利用の高効率化と脱炭素化への環境整備 など
■運輸	<ul style="list-style-type: none"> ○現状背景 ・エネルギー消費割合の7割以上が自動車 ・貨物自動車のエネルギー消費量は増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○施策 ・エコドライブや公共交通機関の利用の促進 ・次世代自動車などの導入促進 ・物流分野の省エネ化を目指した普及啓発 など
■地域	<ul style="list-style-type: none"> ○現状背景 ・地域で自立的に確保できる多様で豊富な新エネの資源の活用 ・災害時のエネルギー確保の重要性の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ○施策 ・地域の特性を活かした需給一体型の分散型エネルギーシステムの構築に向けた取組 ・分散型エネルギー事業の取組の拡大 など

第5章 省エネ・新エネの促進を図るための基盤整備

<p>○現状背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国随一の豊富なエネルギー資源が賦存 ・新エネポテンシャルに比べ系統規模が小さい ・V P P・DRなど新たなデジタル技術の進展 	<p>○施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋上風力発電の導入拡大 ・送電インフラ整備などの国への働きかけ ・V P P・DRの活用促進 など
---	--

第6章 道内企業の参入促進による環境関連産業の振興

<p>○現状背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積雪寒冷の地域で培われた省エネ技術などの存在 ・新エネ導入の拡大に伴うビジネス機会の増加やアグリゲーションビジネスなどの新たなビジネスの萌芽 	<p>○施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業人材の育成 ・関連技術・製品開発の促進 ・製品の販路拡大 など
--	--

第7章 計画推進に向けた行動

<p>■オール北海道体制での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道民、事業者等の行動 <p>■道の行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道としての取組（率先行動） ○道民、事業者、市町村、国との連携強化 ○毎年の取組状況等の調査、点検による施策への反映 	<p>■推進体制の整備・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「省エネ・新エネ推進会議」、「地域省エネ・新エネ導入推進会議」等の活用 <p>■計画の推進状況の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎年の取組状況等の調査、点検による施策への反映 ○ロードマップ
---	--